



## "Program Update"

### 貨物室のスモークテストを実施

4月、ワシントン州の飛行試験拠点であるMFCにて、貨物室のスモークテストを実施しました。

同テストは、貨物室に煙を流入させ、客室や様々な機器が配置される床下に規定値以上の煙が流出しないかを確認するものです。

飛行試験機 4号機の後方部に位置する貨物室内に煙霧機で作成した煙を流し入れ、煙感知器やカメラで煙の動きや流出量をリアルタイムで監視しました。

試験結果は良好で、規定値内に収まることを確認しました。

<http://progress.flythemrj.com/testing-mrj-cargo-smoke-containment-capability>



試験後に貨物室内の煙を放出

### 国土交通省航空局パイロットによるMRJの慣熟飛行を実施

Moses Lake Flight Test Center (MFC)にて8/5~8/7の3日間で国土交通省航空局(JCAB: Japan Civil Aviation Bureau)パイロットによるMRJの慣熟飛行が実施されました。慣熟飛行は飛行試験機4号機を使用し、3名のJCABパイロットが交替で計4回に亘り、晴天・温暖な気温の中、ベースとなるグラント郡国際空港に近い空域で実施されました。操縦にあたったJCABパイロットは、事前に座学およびフライトシミュレーターによるトレーニングを実施しており、慣熟飛行は計画通りに完了しました。今回の慣熟飛行は、三菱航空機以外のパイロットがMRJを初めて操縦したものになります。型式証明取得に向けてまた重要な一歩を踏み出しました。

<http://progress.flythemrj.com/japan-civil-aviation-bureau-pilots-the-mrj>



MRJの最新開発状況は、以下のサイトにて随時お知らせしております。(今回の記事も掲載されています)。是非、ご覧ください。

<http://progress.flythemrj.com/> (英語のみ)